令和８年１１月２日発行

板橋区立板橋第五中学校　学校だより

常に夢や目標をもち
多様性を尊重し主体的に行動する生徒を育成します

小中一貫学びのエリア：板橋第四小学校・板橋第五中学校

校長　太田繁伸

運動会

10月10日（土）に、本校の運動会を実施いたしました。10月10日といえば、かつて「体育の日」として親しまれた祝日でした。1964年の東京オリンピック開会式を記念し、1966年に「国民がスポーツに親しみ、健康な心身を培う日」として制定されたものです。根拠となるデータは諸説あるものの、この日を「晴れの特異日」と呼ぶ人もいます。今年の10月10日もまさにその言葉通り、絶好の秋晴れに恵まれ、運動会の中で生徒たちの主体性あふれる素晴らしい姿を多く目にすることができました。

本校の運動会は、現在午前中のみで開催しております。以前は終日かけて実施しておりましたが、感染症対策や練習時間の見直し、近年の猛暑に伴う熱中症予防など、様々な観点から現在の形へと移行いたしました。しかしながら、半日開催となった今でも、その内容は以前にも増して充実していると感じております。

本校の教育活動における大きなキーワードは「主体性」です。日々の授業や生徒指導はもちろんですが、運動会や学芸発表会、校外学習といった学校行事では、特に生徒の主体性が発揮できるよう工夫を重ねています。今回の運動会でも、実行委員会を中心に生徒たちが自分たちで競技種目を考案するなど、自ら考え行動する場面が数多く見られました。そして、その主体性が最も象徴的に表れていたのが、全校生徒によるダンスです。

本校の運動会で実施している全校ダンスは、各クラスから選出された「ダンス委員会」が主導しています。生徒自身が振付を考案し、他の生徒へ指導を行い、練習の指揮をとって一つのダンスを完成させています。教員は手出し口出しをせず、見守る立場に徹しています。まさに、生徒たちの自主性と熱意に支えられた取り組みです。

この全校ダンスは令和元年度に始まりました。それまではソーラン踊りを行っていましたが、体育授業におけるダンスの必修化などをきっかけに、現在のスタイルへと変更いたしました。そして、この転換期には一人の女子生徒の存在がありました。

その生徒は幼少期からダンスに打ち込んでおり、中学在学中も大人のチームに混ざって全国で活躍するほどの実力者でした。日々練習に励む姿や、まさに「キレキレ」と表現するにふさわしい圧倒的なパフォーマンスは実に印象的でした。中学卒業後は高校在学中にプロダンサーとなり、今年の夏までKADOKAWA DREAMSのメンバーとして一線で活躍していましたが、現在はソロのダンサーとして活動の幅を広げ、ワークショップ等でも活躍を続けているようです。

全校ダンスを開始した初年度、当時９年生（中学３年生）だった彼女が中心となり、選曲や振り付けを手掛けてくれました。この挑戦がきっかけとなり、生徒の手で作り上げる「全校ダンス」は本校の伝統となりました。今回の運動会で弾けるような笑顔でダンスに取り組む生徒たちの姿をご覧になった方も多いかと存じます。この良き伝統が今後も受け継がれ、さらに素晴らしく進化していくことを心より期待しております。

追伸：本校の運動会でかわいらしい演技を披露してくださった、板橋明星幼稚園の園児の皆さん保護者の皆さん、本当にありがとうございました。



ダンス終了後の記念撮影

運動会

10 月 10 日、今年は秋晴れのもと、少し汗ばむほどの良い天気に恵まれて運動会が開催されました。
連日のように、運動会実行委員やダンス実行委員、クラス旗担当の生徒たちが放課後に残って準備を重ね、当日を迎えました。本番では競技や演技が素晴らしかったのはもちろんのこと、係の生徒たちも本当によく動いていました。片付けもみんなで手伝って自分たちの運動会という主体性と責任感が最後まで感じられる、素晴らしい運動会となりました。








ごっちゃんタイム中間発表会

10 月 16 日、本校の探究学習の時間「ごっちゃんタイム」の中間発表会を行いました。年間約 20 時間を使い、各自でテーマを決めて学習を進めています。今回は学年の枠を超え、全校で似た分野ごとにグループに分かれて発表し合いました。7･8 年生が熱心に取り組む姿はもちろん、9 年生の深みのある発表にはさすが！という声も上がっていました。



入試説明会

10 月23日、入試説明会を行いました。2 学期を折り返し、入試までの日数をカウントしているクラスもあります。具体的に何を準備しておくのか、都立･私立高校の入試の概要について具体的な説明がありました。進学先決定には、説明会等に参加し、実際に志望校を自分で体感すること、よく家庭で相談することが大切という話がありました。



上級学校訪問

10 月 23 日、8年生が上級学校訪問で王子総合高校を訪れました。充実した専門教室を関心を持って見学し、普通科とは異なる総合学科の特色ある説明も伺うことができました。来年度の進路選択を考える上で、大変貴重で参考になる機会となりました。




板五中改築ワークショップ

板五中は校舎老朽化に伴い改築を行うため、区役所と連携し検討委員会を発足して計画を進行中です。10 月 28 日、今回は8学年生徒対象のワークショップを実施し、「居場所」や「学びたい場所」についてグループで活発に話し合いました。




今月の予定

日	曜日	時程	学校行事予定
1	日		
2	月	A	9年卒アル予備日
3	火		文化の日
4	水	B	区中研のため給食後下校　※7B(5時間授業)
5	木	A	
6	金	B	学校保健委員会(8年)　乳幼児体験(9年)　漢検
7	土		
8	日		
9	月	A	①エゴグラム診断　ふれあいアンケート
10	火	A	
11	水	特	期末考査
12	木	特	期末考査
13	金	特	期末考査　つながる保護者会@ごっちゃんルーム(14:00～)
14	土		
15	日		

日	曜日	時程	学校行事予定
16	月	A	避難訓練　①～⑤9年到達度テスト
17	火	A	
18	水	B	専門委員会、中央委員会
19	木	A	
20	金	B	
21	土		
22	日		
23	月		勤労感謝の日　ESAT-J
24	火	A	時間割No3　全校朝会
25	水	B	改築に向けて(14:30～ランチルーム生徒有志)　再登校15:00
26	木	A	
27	金	A	
28	土		
29	日		
30	月	A	①エゴグラム分析
31	土		

来月(12月)の主な予定

2日(水)～9日(水)三者面談　16日(水)専門委員会・中央委員会　25日(金)終業式

生徒の活躍

ソフトテニス部

第４ブロック中学校ｿﾌﾄﾃﾆｽ秋季研修大会　女子団体　優勝

バドミントンクラブ

令和８年度板橋区バドミントン新人大会　女子団体　第３位　Ｂブロック大会進出

好きこそ物の上手なれ

副校長　須藤千絵

「好きこそ物の上手なれ」ということわざがあります。好きなことには夢中になって自然と時間を費やすため、どんどん上達していくという意味です。絵を描くことが好きな人はいつも絵を描いているので上手になるということです。好きなことに打ち込み、それが得意になり、誰かに褒められる――これはとてもラッキーで幸せなことだと思います。

近年は、試験の点数だけでなく、その人が持つ「好きなこと」や「情熱」に光を当てる高校や企業が増えてきました。「ギターばかり弾いていないで勉強しなさい！」と言われた時代から、「好きなことをとことん伸ばすこと」が評価される時代へと変わりつつあるのは、良い変化だと感じています。

一方で、中学生の中には「自分にはそこまで好きなものも、得意なこともない…」と思っている人がいます。けれど、自分では当たり前にできているけれど、実は周りから見ると「すごいな」と思われるようなことにまだ気付いていないだけかもしれません。あるいは、これから先、運命的に大好きなことに出会うかもしれません。

中学校は、「自分にはどんな魅力や可能性があるだろう？」「どんな仕事や生き方が向いているだろう？」とワクワクしながら自分自身を深く見つめ、探求する場所です。

すでに「大好きなこと」がある人も、これから「好き」や「得意」を見つけていく人も、自分自身の可能性を信じて、将来の生きがいとなるような仕事や趣味に出会えることを、心から応援しています。